

株式会社UCS(8787) 2014 年 2 月期第 2 四半期決算発表

1. 経営成績

〔単位:百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益
2014 年 2 月期第 2 四半期 (前年同期比)	8,500 (2.5%)	1,878 (52.9%)	1,881 (52.6%)	1,157 (58.7%)
2013 年 2 月期第 2 四半期 (前年同期比)	8,296 (1.2%)	1,228 (△7.2%)	1,232 (△7.2%)	729 (△4.3%)

2. 部門別概況

(1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

包括信用購入あっせんは、個人消費が持ち直し傾向にあることや、グループ営業企画等の実施により好調に推移いたしました。ショッピングリボ払いは、割賦販売法改定の影響を受け伸長率が鈍化いたしました。その結果、取扱高は、2,728 億 48 百万円(前年同期比 12.0%増)、営業収益は、57 億 70 百万円(前年同期比 9.7%増)となりました。

(2) 融資

取扱高は、総量規制等により伸び悩み、引き続き厳しい状況で推移しております。取扱高は、71 億 51 百万円(前年同期比 0.5%減)、融資残高は、前事業年度末に比べ 7.6%減、11 億 99 百万円減少し、145 億 54 百万円となりました。その結果、営業収益は、13 億 49 百万円(前年同期比 17.8%減)となりました。

(3) 保険代理業

クレジットカード会員様向け通販保険および損害保険の取扱いは堅調に推移いたしましたが、保険ショップは、料率改定の影響で苦戦いたしました。その結果、営業収益は、8 億 19 百万円(前年同期比 4.6%増)となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて全体の営業収益は、85 億円(前年同期比 2.5%増)となりました。

3. 営業費用

包括信用購入あっせん取扱高の好調によりポイント費用が増加する一方で、延滞債権残高の減少等により、貸倒関連費用が減少したことに加え、支払利息が減少いたしました。その結果、営業費用は、66 億 21 百万円(前年同期比 6.3%減)となりました。

4. 営業利益・経常利益・四半期純利益

以上の結果、営業利益は、18 億 78 百万円(前年同期比 52.9%増)、経常利益は、18 億 81 百万円(前年同期比 52.6%増)、四半期純利益は、11 億 57 百万円(前年同期比 58.7%増)となりました。

5. 2014年2月期通期業績予想

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	17,000	2,750	2,750	1,600	円 銭 85.07
今回修正(B)	17,300	3,100	3,100	1,850	98.36
増減額(B-A)	300	350	350	250	—
増減率	1.8%	12.7%	12.7%	15.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	16,726	2,513	2,518	1,399	74.41

平成26年2月期通期業績予想につきましては、営業収益は、包括信用購入あっせん分野が堅調に推移していることに加え、電子マネーカードの発行(平成25年11月予定)により、加盟店手数料収入が増加する見込みであります。営業費用は、与信の厳格化や債権管理体制の強化による債権の健全化が計画以上に進展したことにより、貸倒関連費用が減少する見込みであります。これらの結果、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、平成25年4月8日に公表いたしました業績予想を修正いたします。

※上記業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。